



学校だより

11月号

希望【きぼう】 幸福【しあわせ】 他愛【やさしさ】
岸谷小ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kishiya>

令和3年11月1日
横浜市立岸谷小学校
校長 矢崎 真理

今もっている力の限りを尽くして

校長 矢崎 真理

10月から緊急事態宣言が解除になり、世の中は突然変わったような錯覚に陥りそうな状況が懸念されました。しかし学校はとてもしおちついていて、地道に「マスクの着用、手洗い、うがい、換気、3密を避ける、消毒」の取組を繰り返して、緩めることなく続けています。子どもたちが、それらが続けることの大切さをしっかりと理解して、習慣化されてきていることが大きいと思います。学校では教職員が指導・支援し、ご家庭でも同じように丁寧な対応をして支えてくださっているからこそと思います。

分散登校でなかなか会えなかった友達と会えた喜び、一緒に活動し学習し遊ぶことのうれしさ楽しさを感じることは、今まで当たり前だったことがけっして当たり前ではなく、尊いことだと気付くことができたように思います。今、11月6日開催予定の運動会に向けて練習をしています。みんなで密に気を付けながらも力を合わせて取り組むことの素晴らしさを感じて、全力で取り組む子どもたちの姿を見て、すでに感激の涙を流している教職員がいることをお伝えします（わたくしもその一人です）。

6年生が、今年の総合学習で「岸谷のまちを元気にするために」の活動を実践しています。

グループでテーマを決めて、まちを活性化するために自分たちでできる取組を企画しました。それに対して、心強い協力者として活動に携わってくださっているのが、本校と生麦中学校の卒業生でPTA会員の「生麦盛り上げ隊」隊長の松野さんです。子どもたちのプレゼンを聞いて「生麦・岸谷のまちを盛り上げるための地域活性化プロジェクト」に、6年生の学びをコラボさせることを、担任と話し合って計画を進めてくださっています。準備において、費用が必要だったり場所が必要だったり、企画段階で実施が難しい内容のものもありますが、まちのプロジェクトのところに参加させていただくことも計画されつつあります。昨年度は「自分の未来を」の単元で職業について学習し、仕事とは「幸せになるためにする」という結論からさらに深く学ぶため、地元のお店の協力をいただき、和菓子やパンの商品開発に取り組みました。毎年、総合学習で何をテーマに取り組むか子どもたちと学年担任とで作り上げていくことが、岸谷小学校の子どもたちが生きているまちとかかわっていくことに繋がり、これから大人へと成長していく子どもたちに、まちの一員としての力をつけることになると思います。iPadを活用してプレゼンする子どもたちを見て、企画し発信する力も育ってきていることを感じます。岸谷のまちを大切にできる子どもたちになってほしいし、達成感を感じて、「私って、いいよね！」という自己有用感をもってほしいと強く思います。

「生麦・岸谷のまちを盛り上げるための地域活性化プロジェクト」の一環で、「岸谷・生麦トイカプセル」が作られ、全7種類のキーホルダーの中に、岸谷小学校の校舎・校歌・校章が描かれたものが入りました。

これも「まちおこし」の取組です。岸谷小学校が、生麦けいきゅん・蛇も蚊もちゃん・安養寺さんなどの地元のキーホルダーの仲間入りをしました。本校を取り上げていただき、とてもうれしいことでした。

運動会前日の開会式の日、ロンドン・リオのオリンピックに出場し今年の東京大会ではコーチとして参加された女子フェンシングのオリンピック西岡詩穂さんが来校し、全校の子どもたちにスポーツの素晴らしさや夢をもって努力することの大切さ、オリンピックの魅力などをお話いただき、翌日の運動会に一人一人が、今もっている力の限りを尽くして取り組めるように応援していただきます。タイムリーで、とても素敵な実践です。

11月も、安全で安心な学校生活を送れるようがんばりますので、応援をよろしく願いいたします。



前期終業式・後期始業式

【前期終業式】

前期のふりかえりの言葉を、2・4・6年の代表児童が全校児童に向けて発表しました。前期はコロナ蔓延防止、緊急事態宣言等で、活動の制限がある中で、得たことや後期に向けての意欲を、堂々と発表していました。大変立派な言葉でした。



【後期始業式】

校長先生から、ノーベル賞物理学賞を受賞した真鍋淑郎さんについてのお話がありました。「自分の得意なものを見つけたら、それを伸ばす努力をすること。学校では理科の実験や観察を通して、新たな発見をすることや、その他の学習でも疑問に思ったことは自分で調べて解決することが大切です。」という講話がありました。

運動会に向けて



運動会の係活動準備が始まりました。応援団は例年とは違うパフォーマンスを計画しています。その他の係も、運動会を盛り上げるために計画を立て、しっかりと準備をしています。コロナ禍でも力を合わせ、思い出に残る運動会になるように頑張ります。

職員室アシスタントさんの紹介

退職された千田さんに替わり、10月11日(月)から、伊藤久美子さんが新しい職員室アシスタントさんとして勤務することになりました。どうぞよろしくをお願いします。



学校カウンセラー 教育相談のご案内

学校カウンセラーの徳永先生による教育相談を実施しております。相談を希望される方は、担当前日までご連絡ください。

11月 5日(金) AM 18日(木) PM
19日(金) PM 22日(月) AM
29日(月) AM

各学年の運動会の見どころ



【1年】

小学校で初めての運動会。子どもたちにおなじみの「ドラえもん」の曲で踊ります。「お家の人にかっこよかったねと言ってもらえるように踊りたい。」「感動してもらいたい。」といった思いを胸に、73名皆で一生懸命踊ります。曲の途中では、自分たちで作った踊りも披露します。応援よろしくお願いします。



【2年】

2年生も「ドラえもん」の曲で踊ります。目標は、「大きな動きで楽しんで踊る!」です。曲の途中では、3~5人のグループごとに話し合っ考えた踊りを入れています。歌詞も覚えて、この歌詞の時にはどんな動きなのかをしっかりと頭に入れて練習しています。力を出し切れるように頑張ります。



【3年】

3年生は縄跳びに挑戦します！練習が始まった頃はできなかった技も、何度も練習していくうちに少しずつ上達が感じられるようになってきました。リズムカナルな曲に合わせて、学年目標の「ポップコーン」のようにポンポンはじけるイメージで元気に踊ります。



【4年】

4年生は、縄跳びとダンスを組み合わせたリズムカナルな演技を行います。曲のテンポに合わせて、65人が息を合わせて縄を跳ぶ練習を頑張っています。歌詞に繰り返し出てくる「ヒーロー」の場面では、キレのあるヒーローポーズをお楽しみください！



【5年】

5年生は、初めてソーラン節を踊ります。社会の水産業の学習で漁の様子を見ました。その様子からソーラン節の動きを想像して力強く踊る練習をしました。56人の心を一つに、息の合った演技を目指して頑張ります！力強い踊りをお楽しみください！



【6年】

ソーラン節はもちろん見どころですが、徒競走もリレーも応援団も、そして各係の仕事ぶりも、一生懸命取り組む姿こそ見どころです。残念ながら、開閉会式や各係の準備への取組は、見ていただけず残念なのですが、運動会を盛り上げる装飾や下級生のお世話をする姿にご注目いただけたらと思います。

6年全国学力状況調査結果

国語・算数共に平均正答率はほぼ全国平均と等しい結果でしたが、問題別にみると国語では、文章全体の構成を捉え内容の中心を把握する問題で正答率が全国平均よりも6ポイント高かったのに対し、漢字の書き取りでは全国平均より最大で20ポイント低い結果となりました。算数では、速さを求める問題で正答率が高かったのに対し、割合での記述問題で全国平均より9ポイント低い結果でした。

生活意識調査では、「スマートフォンやコンピュータの使い方について家の人との約束を守っている」、「地域や社会をよくするために何をすべきが考えることがある」などで全国平均を上回ったものの、「自分にはよいところがある」「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」では、「当てはまらない」、「どちらかといえば当てはまらない」が全国平均より約10ポイント高くなりました。結果は、校内で検討し、来年度以降の中期学校経営方針作成に生かしていきたいと思ひます。



【5組】

各学年の団体演技は1、2組の仲間と一緒に練習しています。振り付けや隊形移動など、できるだけ「自分でできる」ことを目標に取り組んでいます。また、個人競技の徒競走に向けて、スタート時のかまえ方や走り出すタイミングを繰り返し練習しました。一人ひとりが自分の力を高め、本番で発揮できるようにこれからもがんばります。